

[概要]

市民表彰は、大阪市表彰規則に基づき、昭和41年にその基準を定め、毎年1回実施している。

表彰は、公益の増進、産業の振興、学術、文化の向上などに貢献し、顕著な功績のあった方、又は市民の模範となるすぐれた善行のあった方を広く市民に顕彰することを目的としている。

[表彰を受けられる主な方々]

○文化功労部門

・海原はるか・かなた

海原はるかさん、海原かなたさん

多年にわたり、漫才コンビとして舞台を中心に活躍し、ユニークな芸風と磨かれた正統派しゃべくり漫才で幅広い層に人気を博するなど、漫才界のベテランコンビとして、大阪の大衆芸能の振興と発展に貢献した。

・奥村 彪生さん

多年にわたり、伝承料理研究家として様々な料理を文献に基づき研究・再現して数多くの著書を残すとともに、後進の育成にも尽力するなど、大阪の生活文化の振興と発展に貢献した。

・柏木 隆雄さん

多年にわたり、フランス文学や大阪を中心とする日本文学について研究を重ねるとともに、上方文化芸能協会の実質的な運営に協力し、「大阪学講座」の確立・発展に尽力するなど、大阪の学術文化の振興と発展に貢献した。

・金 満里さん

多年にわたり、劇団態変において芸術監督や演出家、女優として、身体障害者の身体表現芸術を、世界に先駆けて創出するとともに、金満里身体芸術研究所で後進の育成にも尽力するなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・曾我廼家 文童さん

多年にわたり、俳優として松竹新喜劇の舞台やテレビ、映画など幅広い分野で活躍し、味のある演技で多くの年代に人気を博するなど、上方喜劇の趣深さを現在に伝える役者として大阪の演劇文化の振興と発展に貢献した。

・畑 律江さん

多年にわたり、古典芸能から現代演劇まで幅広い視野で鋭い劇評・評論を行うとともに、演じ手や演劇集団の活動に深く寄り添う形で記者活動を行うなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・三島 元太郎さん

多年にわたり、能囃子方太鼓（金春流太鼓方）重要無形文化財保持者として、大阪や東京を中心に全国の舞台上で活躍するとともに、若手能楽師の育成にも尽力するなど、大阪の伝統芸能の振興と発展に貢献した。

・ヤノベ ケンジさん

多年にわたり、現代美術作家としてユーモラスな形態に社会的メッセージを込めた数々の作品を発表し、大阪中之島美術館に設置した「SHIP'S CAT (Muse)」が人気を博するなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・わかぎ ゑふさん

多年にわたり、脚本家や演出家、女優、エッセイスト、プロデューサーとして幅広い活動を続けるとともに、小劇場界の中心的存在として後進の育成にも尽力するなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

をはじめ計 64 組 65 名を表彰する。